

神田 松鯉

講談師

1942年生まれ。群馬県出身。前橋商業高校卒業後、演劇界に入り役者修業を経て、1970年講談界に転じ二代目神田山陽に入門。前座名陽之介。1973年二ツ目に昇進して小山陽と改名。1977年小山陽のまま真打に昇進。1992年三代目神田松鯉を襲名して現在に至る。

若いころから講談のバックボーンと言われる長編連続講談の復活・継承に積極的に取り組み、現在は日常の寄席出演はもとより、古典講談の保存と後進の育成につとめている。

≪主な受賞歴≫

- 1977年 第1回講談奨励賞
- 1977年 第6回放送演芸大賞ホープ賞
- 1988年 第43回文化庁芸術祭賞
- 2019年 重要無形文化財保持者（人間国宝）
- 2020年 板橋区名誉区民賞
- 2021年 旭日小綬章
- 2021年 板橋区登録無形文化財認定
- 2022年 第38回浅草芸能大賞
- 2022年 前橋市功労者表彰

≪所属≫

- 日本講談協会名誉会長
- 公益社団法人落語芸術協会相談役
- 一般社団法人日本ペンクラブ企画事業委員会委員
- 公益社団法人俳人協会評議員